



令和6年度区・自治会デジタル化推進モデル事業報告会

山手西自治会における
自治会アプリ「結ネット」
による
電子回覧板導入事業

山手西自治会

2025.3.8

事業の背景と目的

背景

- 子育て世帯・共働きの家庭 ⇒ 紙ベースの回覧板による **情報伝達に時間**がかかる
※毎月2回回覧：回覧に要する期間 **8～19**日間
- イベントの出欠などの返事を集約 ⇒ **班長の負担**が大きい

目的

- デジタル技術の導入 ⇒ 電子回覧板により **タイムリーに情報伝達**
- 自治会アプリの返信機能 ⇒ **班長の負担軽減**とスピーディーな処理
- 持続可能な自治会の運営を目指す

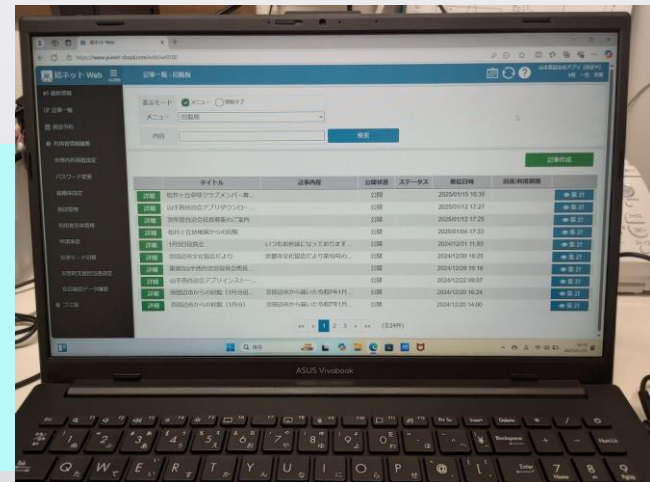
事業の内容

ノートPC導入

- 公民館の**WI-FI**環境は導入済み
- 自治会アプリ用ノート**PC**購入
ASUS製他 〇〇〇〇 円

アプリ導入

- 町内会電子回覧板「結ネット」を導入
※（株）シーピーユー提供
- 結ネット実証実験費用（**390**世帯）



事業のスケジュール

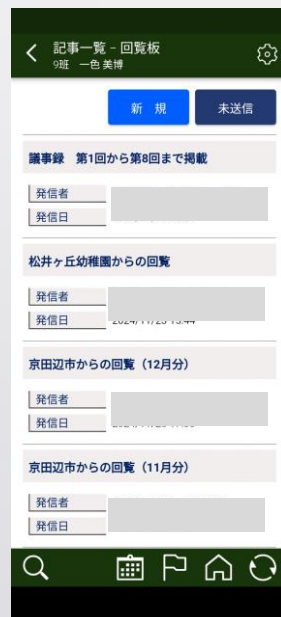
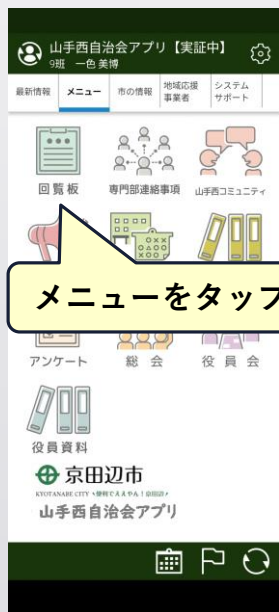
スケジュール

- 5月 山手西デジタル化推進委員募集
- 6月 山手東自治会のデジタル化見学
- 7月 京田辺市デジタル化推進事業募集説明会参加
- 8月 導入アプリ選定 ⇒ デジタル化推進事業応募
- 9月 自治会アプリ結ネット実証実験の準備
- 10月 結ネット導入チーム設置
- 10月 自治会アプリ用ノートPC設置
- 11月 自治会アプリの役員向け操作説明会開催
- 12月 班長・一般会員ログイン登録開始
- 1月 自治会アプリインストール説明会開催

事業の成果

成果

- 山手西自治会アプリを立ち上げ、電子回覧板の運用を開始できた



事業の成果や効果

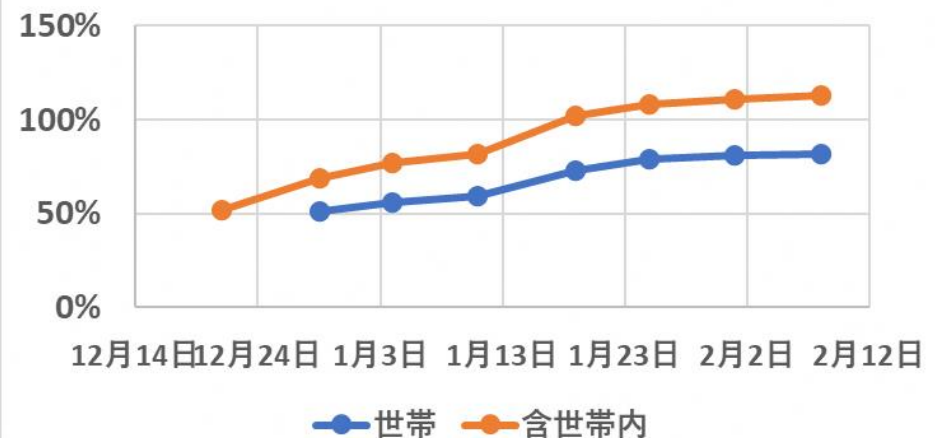
成果

- 2月8日時点の世帯ログイン登録率82%

効果

- 山手西自治会全21班中2班の世帯ログイン登録率100%を達成
- 2班について紙ベースの回覧板を試験的に休止 ⇒ 電子回覧板活用

ログイン登録率の推移



事業の反省点や課題

反省点

- アプリへの一般会員のログイン登録開始が**12月**になったため、事業完了の1月末までに全世帯がログイン登録する状態には至らなかった

課題

- 自治会アプリの効果をより高めるためには、会員のログイン登録率を**100%**に近づけることが課題
- 登録していない理由を調査するとともに、インストール方法や使い方を丁寧に説明する機会を増やすなどの対策が必要
- 今回導入した自治会アプリは施設予約や災害モードによる安否確認などの機能を備えているのでこれらを活用

他の団体へのアドバイス

ア ド バ イ ス

- 電子回覧板として利用できるサービスには多くの種類があるが、町内会などの地域組織で主に利用されている「結ネット」のような専用アプリの方が管理・運用にあたる役員の負担は少ない
- 会員に自治会アプリへの登録を案内する際、連絡手段が従来の回覧板しかなく周知に時間がかかるので、日程に余裕を見ておいた方がよい
- 自治会アプリを継続的に運用するには予算の裏付けが必須で、運用経費のシミュレーションをしておいたほうがよい



山手西自治会は
持続可能な自治会活動を目指して
今後もデジタル化に取り組んで
まいります

ご静聴ありがとうございました

山手西自治会